



みのりの丘

発行者 袖ヶ浦市平岡交流センター 〒299-0211 袖ヶ浦市野里1563-1 TEL(75)6677

9月1日は防災の日・・・平岡交流センターの防災対策



避難所開設指示書

去る7月28日に最大震度7の熊本地震が発生し、家屋やインフラに甚大な被害が発生しました。被災者は酷暑の中、過酷な避難生活を今も強いられています。また、今年度は台風の発生件数が例年以上に多く、線状降水帯やゲリラ豪雨也多発しています。8月13日から14日にかけて発生した千葉豪雨では、県内多くの市町村で甚大な被害が発生しました。防災に関する関心がこれまで以上に高まっている今、本センターの防災対策についてお知らせいたします。

一昨年度本センターは、避難所の速やかな開設のため、他に先駆けて独自の「避難所開設指示書」を作成しました。そして昨年7月12日に「みんなでつくる地域の避難所講座」を開催し、実際にこれを活用し、避難所開設について研修を実施しました。この指示書は、本部長、安全確認係、住居係、トイレ係、受付係などの指示書や最低限必要な書類、掲示物等を1つの箱にまとめてあります。まず本部長を決定しその後に各係を決め、この指示書に従って各係が指示・対応していけば、速やかに避難所が開設できます。



簡易トイレ作成研修

多目的ホールの壁面には、①～⑧の札が対に貼ってあります。この番号どうしをスズランテープで結べば、4区画の居住スペースと通路が直ぐにできます。多目的ホール2階に保管してあるマットを1階に降ろし、床に敷けば居住スペースが完成します。また、能登半島地震や東日本大震災では、避難所のトイレの重要性が指摘されました。熊本地震でも、トイレに行くのをためらい水分補給を控えたため、熱中症になる高齢者のニュースも報道されました。本センターには、災害時に屋内に4ヶ所の簡易トイレを設営できます。下水道が使える場合には、マンホールトイレも使用可能となります。

西側駐車場の前には、市の防災倉庫があり、その中には発電機や飲み水、食料品などが備蓄されています。しかし、市の備蓄品は、限られています。もし避難所へ避難する際は、それぞれが家庭で備蓄している水や食料だけでなく、トイレトーパーや携帯トイレも持参していただくと助かります。また、自宅避難となった際、上水道が使えない時のために、日頃から近くにある自噴井戸の場所と所有者を確認しておき、いざという場合に備えることも有効です。平岡は水の豊かな地域です。

避難所の運営は、住民の皆さんが力を合わせ一人ひとりが自分のできることを率先して行う「共助」の意識がますます必要不可欠となります。また、自宅避難に関しては、公助や共助の手が届きにくいことが課題となっています。本センターは、一つひとつ課題に向き合っていきたいと考えています。

主催講座の様子・・・ジュニアチャレンジ講座①



延命寺

ジュニアチャレンジ講座は、平川中学校と連携し、夏休みの郷土学習の一環として中学生を対象に今年度初めて開催しました。地区紹介ムービー作りを通して探究心や実践スキルを育てるとともに、地域を理解し郷土への愛着を深めることがねらいです。7月31日にはその1回目として、ビデオ撮影会を実施しました。平川中学校から10名の生徒が参加し、バスで平川地区にある特色ある史跡や施設など10カ所をめぐり、タブレットでビデオ撮影しました。

最初に平川中学校図書室に集合し、講師から、撮影・編集し発信するために必要なメディアリテラシーや、実際に撮影するときのテクニックについて学びました。その後、野里菓子屋、野里神社、袖ヶ浦フォレストレースウェイ、延命寺、真光寺、東京ドイツ村、tassoの森、農村公園、横田駅、GAULAB-Yokota、百目木公園を回りビデオ撮影しました。全部で平川地区11カ所を撮影して回りましたが、生徒達からは「意外に知らない場所があった」「平川地区もなかなか良いところが多い」などの感想が聞かれました。2回目は8月25日に開催し、生徒達は撮影したビデオを編集して地域紹介ムービーに仕上げました。出来上がった作品は、文化・スポーツまつり等で上映する予定です。



野里菓子屋

シリーズ「ひらおか歴史の散歩道」②・・・川原井 寺原台不動尊



馬乗り馬頭観音

川原井区は谷(ㇿ)の景観を良く残した地域です。中央を流れる松川兩岸の台地は平坦部も多く、ここでは馬に関わる暮らしの跡をみることができます。寺原台不動尊を訪ねると、草競馬場北堤にあったという日清・日露戦争時の徴発軍馬記念碑2基が建ち、この地域から多くの馬が徴用されたことがわかります。大正13年4月2日付け千葉毎日新聞には、平岡村青年会主催の春季競馬大会が開かれる記事が見え、ここに遠く安房郡や長生郡からも多くの馬が集まったこともわかります。

この2基に挟まれ、安永3(1774)年造立の馬乗り馬頭観音があります。馬乗り馬頭観音は、特に千葉県に多くみられ、県を代表する石仏として知られています。この寺原台の馬乗り馬頭観音は3つの顔と6本の腕を持ち、馬頭観音とは思えぬ穏やかな顔で合掌しています。これに大変よく似た馬乗り馬頭観音が市原市白塚にあり、翌年の安永4年造立となっています。



馬徴発軍馬記念碑

袖ヶ浦市郷土博物館顧問 稲本章宏

中高生の居場所づくり事業・・・ワークショップ②



中高生の居場所づくり2回目のワークショップを、7月25日に開催しました。第1回目のワークショップでは、模型を使って居場所をデザインしましたが、今回は「ブロックで居場所をデザインしよう」がテーマです。3月に閉園になった中川幼稚園の大型木製ブロックを活用して、家具のデザインをしながら階段下の空間活用について考えました。今回は、平川中学校の生徒7名に加え、袖ヶ浦高校の生徒も3名参加してくれました。

最初に千葉大生から、デザインをする際は、「机の配置」「机の大きさ」「ブロックの組合せ」を考えながらデザインするようアドバイスがあり、千葉大生が3Dプリンターで自作したテンプレートを使ってデザインを考えました。その後、実物のブロックを使って実寸での検討です。机上の設計では思っているより小さい机となっている生徒が多く、実寸での検討の大切さを感じていたようです。また、実際に設置場所に置いて机の大きさを検討する作業も行い、修正を重ねていきました。そして出来上がったデザインをお互いに発表し合い、「なぜその形にしたのか」や「工夫したポイントは何か」を、参加者一人ひとりが説明しました。

最後に千葉大生から、「できるだけ中高生がつくったデザインを尊重し、最終的な形にしたい」という話があり、次回のワークショップにつなげることになりました。どんな形でできあがっていくのか、ますます楽しみになってきました。3回目のワークショップは、11月28日に平川中学校で開催する予定です。



図書室からのお知らせ



図書室のミニ特設コーナーをご存じですか？図書室カウンター前に、毎月テーマに沿った本を中央図書館から取り寄せて並べています。8月は「本で日本一周しよう」がテーマで、全国の写真集・地方の料理、お土産、名所など、猛暑でも涼しい部屋で旅行気分を味わっていただける本を集めました。展示期間を過ぎても取り寄せることができます。遠慮なくリクエストしてください。9月のテーマは「もののために」です。防災・防犯などに役立つ資料が集まっています。どうぞご利用ください。

今後の予定

- 9/ 4 (金) シニアセミナー③
- 9/ 5 (土) 親子DEエンジョイクラブ③
- 9/15 (月) 小学校家庭教育学級②
- 9/19 (土) 国際理解セミナー①
- 9/21 (月) 敬老会
- 9/28 (月) わくわく女性倶楽部④

まだまだ暑い日が続いています。本センターは、「ガウラの涼みスポット」としてクーリングシェルターに指定されています。事務室前にはウォータースタンドも用意してあります。熱中症警戒アラート発令時だけでなく、いつでも気軽に本交流センターを利用してください。